

平成14年度通常（第1回）理事会議事録

日 時 平成14年5月25日（土） 10:30～18:00

場 所 国立代々木体育館 第二会議室

出席理事（敬称略、順不同）:

山崎達光（委任：戸田邦司）、井手正敬（委任：戸田邦司）、小田切満寿雄、戸田邦司、松本富士也、小田泰義、栗田栄一郎、高橋順一、岩田直幸、栗原博、斉藤威、清水昭、鈴木保夫、富田稔、戸張房子、名取正精、浪川宏、平賀威（委任：富田稔）、広瀬興郎、松田健次郎、三井祥功（委任：浪川宏）、倭千鶴子、池田栄宏（委任：富田稔）、福田義一、昇隆夫、都築勝利、水谷益彦、中山明、岩田行史（委任：戸田邦司）、石崎五一郎（委任：小田泰義）、西原敏文、古谷正宏、秋山雄治

以上、33名、内委任状7名

出席監事：石崎忠朗

以上、1名

欠席監事：青淵隆督

以上、1名

オブザーバー：武村洋一事務局長、榛葉克也ルール委員

議事の経過及び結果

（定足数の確認）

理事33名、出席者33名（内委任状7名）により、寄附行為第29条に基づく定足数を充足しており、本理事会は成立。

（議長による開会宣言）

山崎達光会長が病氣療養中のため、寄附行為第19条に基づいて戸田邦司副会長が議長となり、平成14年度通常（第1回）理事会の開会を宣言。

（議事録署名人）

本理事会の議事録署名人としては、議長指名により、福田義一・倭千鶴子の両理事が任命された。

<議案事項>

（1）平成13年度事業報告（案）

小田専務理事より、資料に基づき昨年度の全般事業として、諸規定の見直しと必要な改正を実施し、組織運営の健全化を計った。収益の安定化と経費の見直しにより、財政の健全化を計った。和歌山ナショナルトレーニングセンターの調査活動及び強拠点の設置により、競技力の向上を計った。アテネオリンピック対策として「アテネ強化基金」の募集及びナショナルチームの編成をした。JSAF ゴールドプランの作成に着手した。これらの5題事業を追加・修正するとの説明がされ、承認された。

(2) 平成13年度決算報告(案)

鈴木会計担当理事より、資料に基づき一般会計・オリンピック特別会計についての収支報告がされた。昨年度は厳しい財政状況の為、第2次補正予算を組みましたが決算した結果、約1,200万円の黒字決算となったものの、大科目の中で支出が予算をオーバーしている科目がある事、収入増の要因が過去の未収金金の回収が大部分であることを考えると依然厳しい状況であると考えられる。一般会計の黒字となった主な収入要因としては、団体負担金の未収金の回収<約407万円増> SS級の艇登録料<約241万円増> 外洋艇計測料<約133万円増> 業務用品販売収入<約114万円増> 寄付金及び免税募金<297万円増> が上げられる。よって予算に対して、11,897,843円の増収となった。

支出の部では、管理費が予算に対して2,256,125円のオーバーとなり、予備費の638,000円を振り替えても1,618,125円の超過となった。

支出全体としては、936,771円の減である。

オリンピック特別会計の収入については、JOCの委託金収入、雑収入が増えたが寄付金の減収に伴ない一般会計の繰越金が減った為、収入合計がで297万円の減収となった。支出の面では、事業費が約116万円オーバーし、当期収支差額は306万円の赤字となり、積み立て預金支出を計上せず、次期繰越金が10,073,615円となった。よって、差額の3,570,464円がオリンピック特別会計から一般会計に対する事務委託費となる。また、一般会計の貸借対照表において仮受金3,300万円は、メルボルン大阪ダブルハンドレースに対する寄付金のあり受けであることの説明があり、石崎監事から野口顧問公認会計士の監査結果及び監事2名の見解が報告され、承認された。

戸田議長より委員会の管理責任を明確にし、JSAFの資産については総務で整理しておいて欲しい旨、コメントがあった。

(3) 全日本補助金について

特別加盟団体(36団体)に対する平成14年度全日本選手権大会等補助金交付額(案)がレース委員会より提出された。平成13年度の補助金額は、2,550,000円であったが、平成14年度額は、2,000,000円を実施し来年度に向け「全日本運営規則」が決定した段階で見直しをして行くことで、承認された。その他、「年度を越えてはいけない」「事前に予定を報告すること」「報告がない場合には支払わない」などの意見が出された。

(4) 表彰について

- ・ 栗原総務副委員長より、中長期かつ継続的な選手育成、医科学的サポートのより優秀選手を輩出、或いは永年にわたる社会体育の普及振興に極めて大きく貢献された方のための「優秀指導者賞」を会長表彰規程に加えることの提案が提出され、承認された。

- 平成 14 年度定期表彰に次の方々が対象者であることの説明がされ、承認された。

功労賞：宇野孝氏、安井清氏。

栄光賞：J24 級 SLED ティーム

(スキッパー：兵藤和行氏、クルー：中嶋一夫氏、笹木哲也氏、岡本治朗氏、早福和彦氏)

F J 級玄海セーリングクラブチーム

(スキッパー：新郷健太氏、クルー：小村聡氏)

優秀競技者賞：J 2 4 級 SANTA BLACK ティーム

(スキッパー：高木裕氏、クルー：笠原文和氏、吉田豊氏、森信秀氏、小林正季氏、中川剛志氏)

F J 級土浦日大高等学校チーム

(スキッパー：石川裕也氏、クルー：天貝謙介氏)

(5) 評議員変更について

三重県ヨット連盟から同連盟選出の評議員を種生登氏から景山裕二氏に変更する届出があり、承認された。

(6) 平成 14 年度大会共同主催・公認・後援願いについて

「JAPAN CUP 2002」<共同主催>、「JAPAN ORC 'C' CUP」<共同主催>、「第 23 回全日本ミニトン選手権大会兼第 4 回スモールボート関東選手権大会」<公認願い>、「環黄ヨットレース」<後援願い>、「日建・レンタコムカップ第 11 回全日本学生女子ヨット選手権大会」<公認願い>以上 5 件の申請があり、承認された。

(7) 理事辞任について

関西水域理事の石崎五一郎氏と外洋関東以北ブロック理事の池田栄宏氏の 2 名より辞任の届出があり、承認された。理事の定足数は足りているが選出母体より後任者(前任者の残留期間)については、選出して貰うこととなった。諸々の残された問題については、副会長で検討する事になった。

(8) 計測副委員長の後任について

福田計測委員長より、石崎五一郎副委員長の辞任に伴う後任者の候補として、長谷川裕氏の推薦があったが、現場の問題を再度良く整理し国体に向けてディンギー系で纏め検討することとなった。反面、インターナショナルのメジャーラーを育成していかなければならない課題が浮き彫りとなった。

<協議事項>

(1) 運営規則の見直し(総則・組織)

富田総務担当理事より当連盟運営規則(平成 14 年 5 月 21 日修正)資料に基づき説明があり、この件についての意見は事前に書面で貰い次回理事会にて議決することとなった。

(2) 理事選出・会長選出について

時間の都合上、継続協議事項となった。

<報告事項>

榛葉克也氏より、葉山マリーナ沖で起きたクルー落水死亡事故の状況説明があった。艇長がライフジャケットを義務付けていなかったことから、艇長・登録者の責任や救助処置方法などについてを安全委員会で徹底指導していくとともに、今後の対処をお願いしたい旨、報告があった。

(1) ルール委員会報告等について

榛葉ルール委員より資料に基づき「ISAFレースオフィシャルズ申請について」「ISAF規定の変更に伴うRRS付則 節改定」「アジア大会インターナショナルジュリー候補者の推薦」などについての報告があった。

(2) 「日本ラグビー仲裁機構 (JSAA)」の設置準備について

松田理事より、JOC第1回理事会(平成14年4月17日)における標記機構の設置準備について資料に基づき報告があった。

(3) 日の丸応援団について

小田切副会長より、加盟団体への「日の丸応援団」参加申込書送付についての連絡があった。

(4) 和歌山トレセン状況報告

松本副会長より、「和歌山トレーニングセンター基本計画」の現在届出関係書類は、3月末に提出完了し、修正分については5月中に納入するとの報告があった。

(5) JSAF ゴールドプランの作成状況と今後の予定

松本副会長より、ゴールドプランは少なくとも4年に一度は見直し要すれば修正していくべき性格のものと思われ、和歌山トレセン作成チーム(松本・松田・山田・豊崎・尾澤・小松・斉藤(威)・清水・上原・田中・武村氏等)が中心に作業中である。6月~7月初旬に掛けて、第1~2稿までを検討を重ね作成し9月を目標に正式書類(最終稿)をJOCなどに提出したいとの報告があった。

(6) 競技者育成プログラム策定の為のモデル事業について

松本副会長より、JSAFゴールドプラン作成と平行し競技力向上委員会、指導者委員会などを中心に次の各項について継続・拡大させながら密度を高め、取り組んでいく必要があるとの報告があった。

指導指針。理念の作成 指導者連絡協議会の発足 優秀選手発掘システム確立
アンチドーピングなどの医科学委員会の活動支援 海外先進国システム調査

(7) 日本一周フラッグリレーキャンペーンのスタート報告について

松本副会長より、5月3日(金)東京夢の島を「スーパーサンバード<石合艇長>」が3枚のフラッグと共に2年間の日本一周の第1レグのスタートをきり、5月4日(土)には横浜にて「あおば<福田艇長>」に無事フラッグリレーされたことの報

告がされた。

(8) totoスポーツ振興事業への申請報告について

松本副会長より、大学生の為のチームレースセミナー ルール講習会 海外ヨット状況調査 競技力向上の為のビデオテープの製作 ホームページの充実 競技力向上のためのマニュアルの翻訳・出版 選考レースドーピング検査 国際スナイプ級(ヨット)連盟本部研修 ナショナルチーム支援 アクセスディンギーインターナショナルチャンピオンシップ2002IN 大阪 以上の事業を提出していることの報告があった。

(9) アジア大会出場選手について

松田競技担当理事より、4月11日に実施されたJOCとの個別折衝にて第14回アジア競技大会の出場選手が次のように決定した旨報告があった。

470級男子：関一人・轟賢二郎選手 470級女子：井嶋千寿子・生田真紀子選手
ミストラル級男子：見城元一選手(ミストラルヘビー) 井上幾郎選手(ミストラルライト) 大石隆太郎選手(レースボードライト) 上野一也選手(レースボードヘビー)
ミストラル級女子：今井雅子選手 レーザー級：鈴木國央
ヨーロッパ級：佐藤麻衣子 オプティミスト級：飯束潮吹、木内蓉子
<以上11艇、13名>

(10) アテネオリンピック代表選考について

松田アテネオリンピック委員長より、資料に基づきオリンピック出場枠獲得者に対する補助・支援等の概要について報告があった。

(11) 特別規定登録手続きの変更について

浪川安全通信委員長より、艇カテゴリー登録事務取り扱いは、安全通信委員会のFAXサービスから用紙を取り出し、外洋東京湾の事務局へ加盟団体がFAXすることにより、東京湾が整理の上、ホームページへ登録するシステムとする旨報告があった。

(12) JSAFユース兼JOCジュニアオリンピックカップ実施報告

名取育成委員長より、「JSAFユースセーリングチャンピオンシップ2001 兼JOCジュニアオリンピックカップ2001」が5月3日～5日に佐賀県唐津ヨットハーバーにて実施された旨、資料に基づき報告があった。

(13) 計測委員会運営規則について

福田計測委員長より、「計測委員会運営規則」についての進捗状況についての報告があった。

(14) ISAF2002Mid Year Meeting 報告

広瀬国際委員長より、AustriaのViennaにて、5月2日～5日に開催され、穂積氏(Council)と広瀬氏(Event Committee)が参加し、資料に基づいて協議・議決事項についての報告があった。

(15) 高知国体競技会役員について

小田専務理事より、国体競技役員の旅費については予算が一人しか付いていないので、会長と専務理事が2人で割り、その他の役員に関しては、自費となるとの報告があった。

(16) 評議員会について

小田専務理事より、平成14年度第1回評議員会と理事者協議会のスケジュールについて資料に基づき提案があった。その案件に加え評議員からの質疑・意見交換の時間を議題終了後、重点的に持つべきとの意見が出され次のような進行次第で案内する事となった。

平成14年度第1回評議員会

日時：6月8日(土) 10:30~15:30

場所：B & G財団 東京海洋センター 3階

午後の部 <10:30~12:00>

JOCの「競技者育成プログラム策定の為のモデル事業」についての紹介
定足数の確認 議長の選出 議事録署名人(2名)任命 会長挨拶

(議案事項)

- 1.平成13年度事業報告(案)
- 2.平成13年度決算報告(案)
- 3.平成13年度監査報告
- 4.水域理事(2名)の欠員補充について

午後の部 <13:00~15:30>

平成14年度定期表彰 意見交換<質疑応答等>

ご質問・ご意見等を事前に提出していただくシステムにする。

理事者協議会 <於：B & G財団>

(一部)日時：6月8日(土) 15:45~17:00

懇親会 17:30~

(二部)日時：6月9日(日) 9:00~17:00

(17) 平成13年度第2回評議員会議事録

本件の内容は、既に議長の森信和氏と議事録署名人の石原文雄氏・市原恭夫氏からは、承認されていることが報告された。

(18) 平成14年度臨時(第1回)理事会議事録(案)

前理事会議事録(案)は、戸田議長、秋山・都築議事録署名人より承認されていることが報告された。

(19) 本年度4月末メンバー登録状況

平成14年度4月30日現在の登録数は、4,235名で内訳につき、加盟団体(県連)2,406人、(外洋)1,672人、艇種別団体157人であるとの報告

があった。

(20) メンバー登録目標について

秋山普及担当理事から、メンバー増強による水域担当者のメンバー編成一覧表が配布され、報告された。

(21) その他

加盟団体名称変更・役員改選について

- ・神奈川県ヨット連盟が神奈川県セーリング連盟と名称変更するとともに、役員に一部就退任があった。
- ・青森県ヨット連盟が青森県セーリング連盟に名称を変更をし、新会長に平久保長蔵氏が就任した。
- ・新潟県セーリング連盟の役員改選（副会長・理事長・副理事長の新任）のお知らせがあった。

全日本学生ヨット連盟要望書について

- ・小田専務理事より、全日本学連が JSAF メンバー登録の受付窓口（加盟団体並びに艇種別団体と同等の団体）としての認定と、同団体の代表として学生会員数を考慮した JSAF 理事・評議員数を検討していただきたい旨要望が出ていることの説明があり、この要望書の回答については、県連と良く話し合い、調整してもらう事となった。

J S A F 会員手帳について

小田切副会長より、本年度版を観切り発車で作成してしまいました手帳を、是非連盟にてご活用していただきたいとの発言があった。

レディース委員会報告

倭レディース委員長より、来る7月14日（日）の神奈川県葉山マリーナ沖において「Enjoy Sailing Day / 体験セーリングイベント」を開催することと高知国体でのチャイルドルーム設置準備手続き経過報告があった。

以上

平成14年度通常（第1回）理事会は、上記の通り議決ならびに承認されたことを確認し、議事録署名人は以下に記名捺印する。

平成14年5月25日

議 長 副 会 長 戸 田 邦 司

議事録署名人 理 事 福 田 義 一

議事録署名人 理 事 倭 千 鶴 子